

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成29年2月23日(2017.2.23)

【公開番号】特開2014-235552(P2014-235552A)

【公開日】平成26年12月15日(2014.12.15)

【年通号数】公開・登録公報2014-069

【出願番号】特願2013-116455(P2013-116455)

【国際特許分類】

G 06 Q 10/10 (2012.01)

G 06 Q 50/22 (2012.01)

【F I】

G 06 Q 10/10 100

G 06 Q 50/22

【手続補正書】

【提出日】平成29年1月16日(2017.1.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

コンピュータが、

グループ宛に作成されたメッセージから抽出された情報に基づき、前記メッセージの担当者を前記グループに対応づけられた複数のメンバーから設定し、

前記メッセージを前記複数のメンバーそれぞれのメッセージリストに追加し、

前記担当者による前記メッセージの確認に応じて、前記担当者を除く前記複数のメンバーそれぞれの前記メッセージリストより、前記メッセージを除外する、

処理を実行することを特徴とするメッセージ管理方法。

【請求項2】

コンピュータが、

前記担当者による前記メッセージの確認に応じて、当該メッセージの送信元での当該メッセージの確認通知のステータスを更新する

処理をさらに実行することを特徴とする請求項1に記載のメッセージ管理方法。

【請求項3】

前記追加する処理は、グループ宛に作成されたメッセージを共通のメッセージ管理テーブルに登録し、前記複数のメンバーの何れかから最初にメッセージの受信要求があった際に、前記メッセージ管理テーブルに格納された前記メッセージをメンバー毎のメッセージ管理テーブルに登録する

ことを特徴とする請求項1または2に記載のメッセージ管理方法。

【請求項4】

コンピュータが、

担当者とするメンバーが記憶された担当情報に基づき、前記複数のメンバーのうち担当者とされたメンバーの前記メッセージリストにおいて、担当者であることを示して前記メッセージを表示する

処理をさらに実行することを特徴とする請求項1～3の何れか1つに記載のメッセージ管理方法。

【請求項5】

コンピュータが、

第1のグループのメンバーである第1の担当者が、前記第1のグループと異なる第2のグループ宛に作成した特定の案件に関するメッセージを、前記特定の案件に対応づけられた前記第2のグループの第2の担当者と対応付けて表示する

処理を実行することを特徴とするメッセージ管理方法。

【請求項6】

コンピュータが、

前記メッセージが前記第2の担当者により確認された場合と、前記第2のグループのメンバーであって前記第2の担当者と異なるメンバーに確認された場合とで、送信済みメッセージリストでの表示態様を異ならせる

処理をさらに実行することを特徴とする請求項5に記載のメッセージ管理方法。

【請求項7】

コンピュータに、

グループ宛に作成されたメッセージから抽出された情報に基づき、前記メッセージの担当者を前記グループに対応づけられた複数のメンバーから設定し、

前記メッセージを前記複数のメンバーそれぞれのメッセージリストに追加し、

前記担当者による前記メッセージの確認に応じて、前記担当者を除く前記複数のメンバーそれぞれの前記メッセージリストより、前記メッセージを除外する、

処理を実行させることを特徴とするメッセージ管理プログラム。

【請求項8】

コンピュータに、

第1のグループのメンバーである第1の担当者が、前記第1のグループと異なる第2のグループ宛に作成した特定の案件に関するメッセージを、前記特定の案件に対応づけられた前記第2のグループの第2の担当者と対応付けて表示する

処理を実行させることを特徴とするメッセージ管理プログラム。

【請求項9】

第1のグループのメンバーである第1の担当者が、前記第1のグループと異なる第2のグループ宛に作成した特定の案件に関するメッセージから抽出された情報に基づき、前記メッセージを担当する前記第2のグループの第2の担当者を前記第2のグループに対応づけられた複数のメンバーから設定する設定部と、

前記メッセージを前記複数のメンバーそれぞれのメッセージリストに追加する追加部と、

前記担当者による前記メッセージの確認に応じて、前記担当者を除く前記複数のメンバーそれぞれの前記メッセージリストより、前記メッセージを除外する除外部と、

前記第1の担当者のメッセージリストに前記メッセージを前記第2の担当者と対応付けて表示する表示処理部と

を有することを特徴とするメッセージ管理システム。

【請求項10】

グループを構成する複数のメンバー宛に送信されたメッセージのうち、メッセージの確認を行なうと他のメンバーに対応する受信メッセージのリストから対応するメッセージを除外する処理が実行される対象のメンバー宛に送信されたメッセージについて、確認されたことを示すメッセージの管理状態への移行に応じて、前記複数のメンバーのうち前記対象のメンバー以外のメンバーに対応する受信メッセージのリストから前記メッセージを除外する、

処理を実行することを特徴とするメッセージ管理方法。

【請求項11】

グループを構成する複数のメンバー宛に送信されたメッセージのうち、メッセージの確認を行なうと他のメンバーに対応する受信メッセージのリストから対応するメッセージを除外する処理が実行される対象のメンバー宛に送信されたメッセージについて、確認されたことを示すメッセージの管理状態への移行に応じて、前記複数のメンバーのうち前記対

象のメンバー以外のメンバーに対応する受信メッセージのリストから前記メッセージを除外する、

処理をコンピュータに実行させることを特徴とするメッセージ管理プログラム。

【請求項 1 2】

グループを構成する複数のメンバー宛に送信されたメッセージのうち、メッセージの確認を行なうと他のメンバーに対応する受信メッセージのリストから対応するメッセージを除外する処理が実行される対象のメンバー宛に送信されたメッセージについて、確認されたことを示すメッセージの管理状態への移行に応じて、前記複数のメンバーのうち前記対象のメンバー以外のメンバーに対応する受信メッセージのリストから前記メッセージを除外する除外部、

を有することを特徴とするメッセージ管理システム。